

＜感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止＞
感染対策の基礎知識と具体策

～感染予防の3原則～

この研修の目的

- 感染予防の重要性を認識する。
- 感染対策の基本を学び、場の特性に応じた感染対策を実施できるようになる。
- 感染対策が適切に実施できるようになる。

感染対策の3原則とは・・・

1. 感染源の排除
2. 感染経路の遮断
3. 宿主（人間）の抵抗力の向上

この原則を徹底することで、感染症の発生、拡大、重症化を予防する。

1. 感染源の排除

<身近にある感染源>

- 排泄物（嘔吐物、尿、便など）
- 血液、喀痰、化膿した傷の膿など
- 処置に使用した器具、器材など
- 排泄物や血液、喀痰などに触れた手、
またはその手で取り扱った食品など

これらを適切に排除し、病原体の拡散を避ける

確認してみよう！

施設の感染予防マニュアルでは、オムツの
処理方法についてどのように定められている
でしょうか？確認してみましよう。

2. 感染経路の遮断

次の3つにより、感染経路を遮断します

- 1) 感染源を持ち込まない
- 2) 感染源を持ち出さない
- 3) 感染源を拡げない

感染経路遮断の具体策

1) 持ち込まない

- 介護施設における感染症のほとんどは、施設外から病原体が持ち込まれて発生している
- 病原体の持ち込み者としては、職員、実習生、家族（面会者）、ボランティア、見学者など様々な人に可能性がある

まずは、職員自身が感染しないよう
健康管理に努めること！

感染経路遮断の具体策

2) 持ち出さない 3) 拡げない

スタンダードプリコーション(標準予防策)を徹底すること！

スタンダードプリコーションとは？

CDC（米国国立疾病予防センター）が推奨する標準感染予防策

<考え方の基本>

すべての患者の血液、体液、分泌物、排泄物、創傷皮膚、粘膜等は、感染する危険性があるものとして取り扱わなければならない

具体的には？

- ① 手洗い（**1ケア1手洗い**の励行）
- ② 予防具（**ガウン、手袋、マスク**など）
の正しい使用
- ③ 器具や器材の**正しい取り扱い**
- ④ 必要な場合には**対象者の隔離**
などが定義されている

①②の徹底が重要！

スタンダードプリコーション

① 手洗い

<例えばこんな時…>

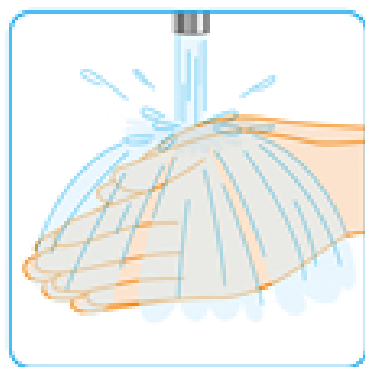
- 感染源に触れた後
- 入居者に接する前
- 手袋を外した後 …など

基本は「流水での手洗い」

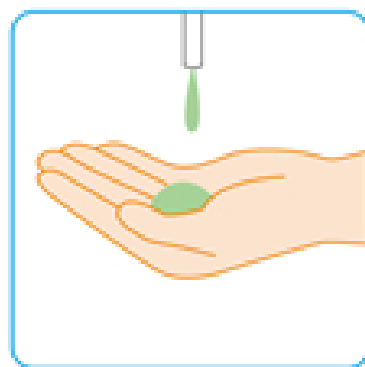
手洗いの前に・・・

<チェック！>

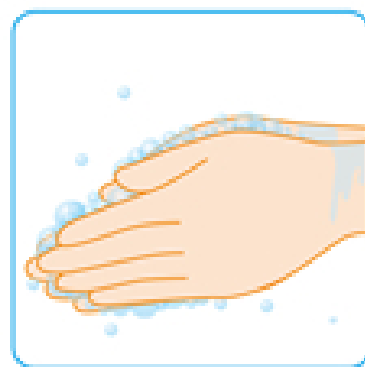
- 爪を短く切りそろえましょう
- 指輪や時計を外しましょう
- 手指に傷がないかを確認しましょう



① 水でゆらぎ



② 石けんを適量つける



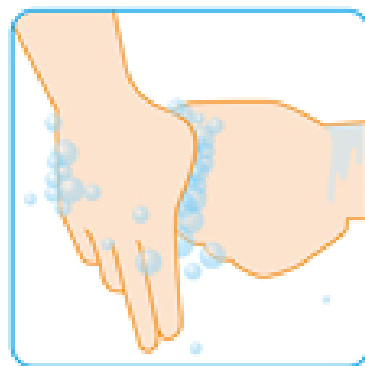
③ よく泡立てる



④ 手の平と甲



⑤ 指の間



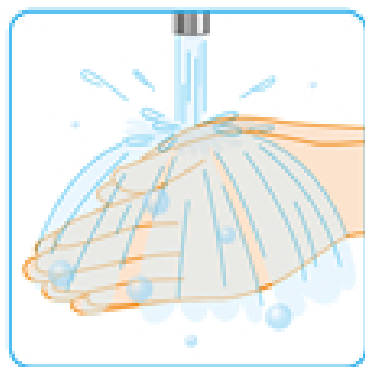
⑥ 親指をしっかりと



⑦ 指先(爪)



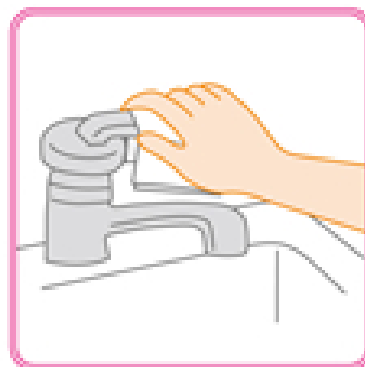
⑧ 手首



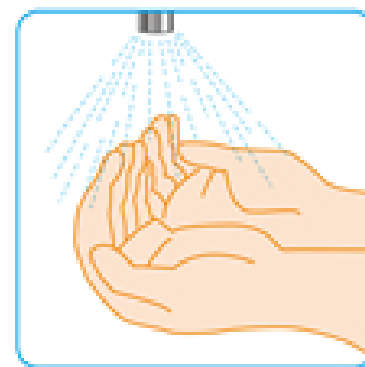
⑨ 十分にすすぐ



⑩ ペーパータオルでよく拭き取る

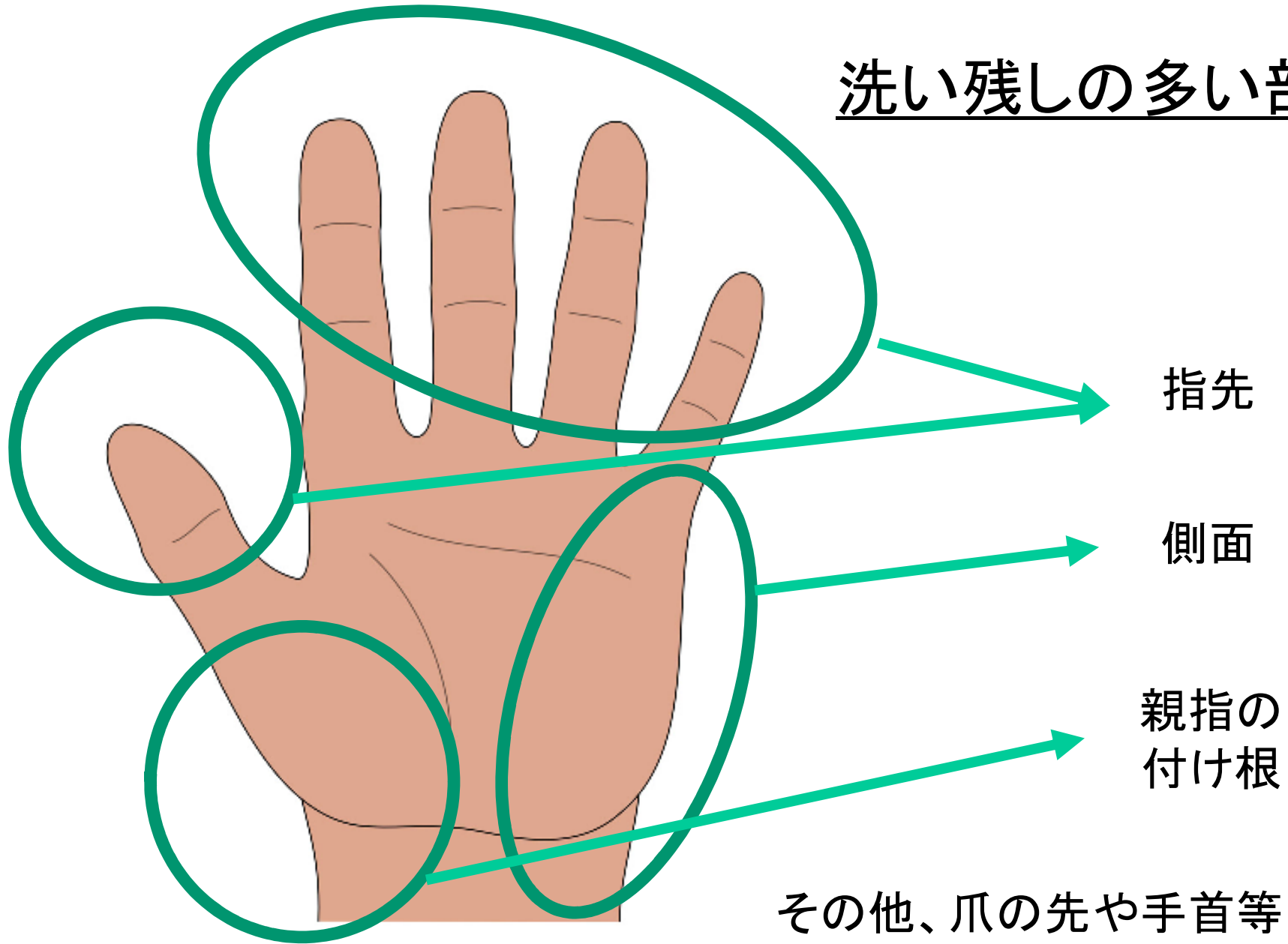


⑪ 蛇口栓にペーパータオルをかぶせて締める



⑫ アルコールを噴霧し消毒、すり込む

洗い残しの多い部分



確認してみよう！

施設の感染予防マニュアルでは、手洗いのタイミングや方法についてどのように定められているでしょうか？確認してみましよう。

スタンダードプリコーション

② 予防具の使用

<例えばこんな時…>

- 便や嘔吐物を処理する時
⇒ 手袋やガウンを着用
- 入居者または自分が咳をしている時
⇒ マスクを着用 …など

正しい着脱方法を身に付けよう！

予防具の着脱

着け方の順序

①ガウン・エプロン



②マスク



③手袋

外し方の順序

①手袋



②ガウン・エプロン



③マスク

予防具（ガウンの場合）装着時の手順

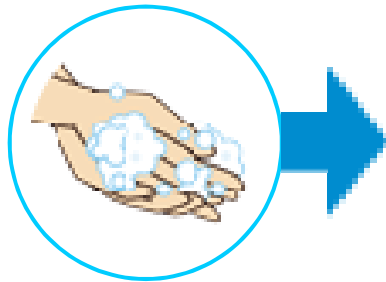
着け方

ポイント

入室前に着用すること。

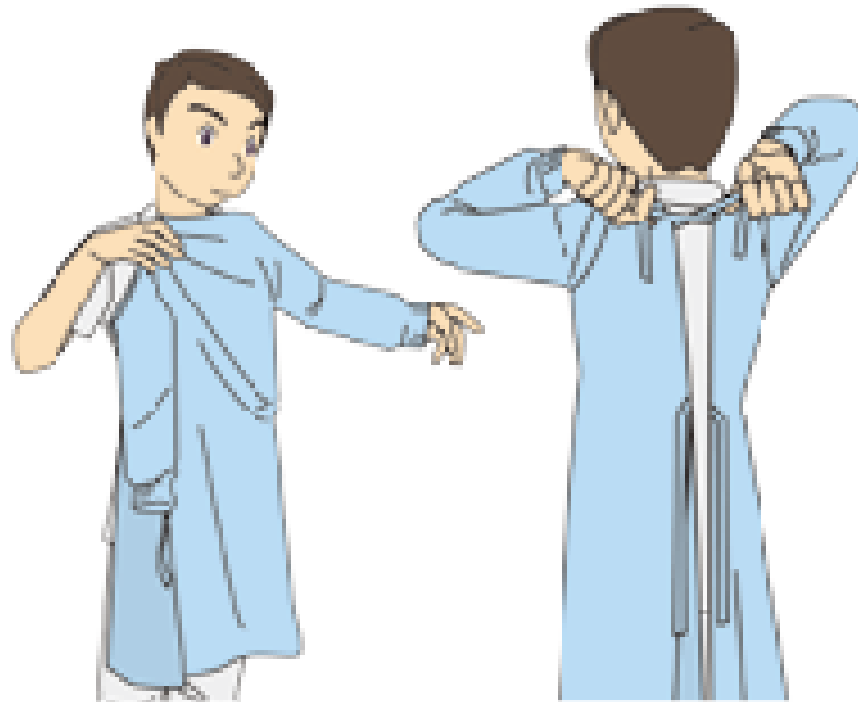
1 ガウン・エプロン

最初に手指
衛生を行います。



ガウン

ひざから首、腕から手首
背部までしっかりガウン
で覆い、首と腰のひもを
結ぶ。



予防具（エプロンの場合）の装着時の手順

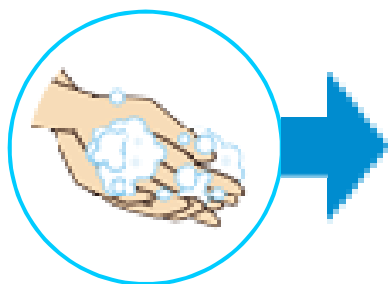
着け方

ポイント

入室前に着用すること。

1 ガウン・エプロン

最初に手指
衛生を行います。



エプロン

首の部分を持って
静かにかぶる。腰
ひもをゆっくり広
げて後ろで結ぶ。
患者と接する部分
に触れないで裾を
広げる。



予防具（マスク）の装着時の手順

着け方

ポイント

入室前に着用すること。

2 サージカルマスク

サージカルマスク

①



鼻あて部が上になるようにつけます。

②

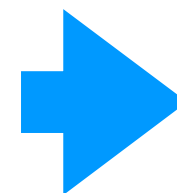


鼻あて部を小鼻にフィットさせ、プリーツをひろげます。

③



鼻あて部を小鼻にフィットさせます。鼻は全体を覆うようにします。



職業感染制御研究会（JRGOICP）

予防具（マスク）の装着時の手順

着け方

ポイント

入室前に着用すること。

2

サージカルマスク

サージカルマスク

④



マスクのプリーツを伸ばして、口と鼻をしっかりと覆います。

⑤



装着完了。

予防具（手袋）の装着時の手順

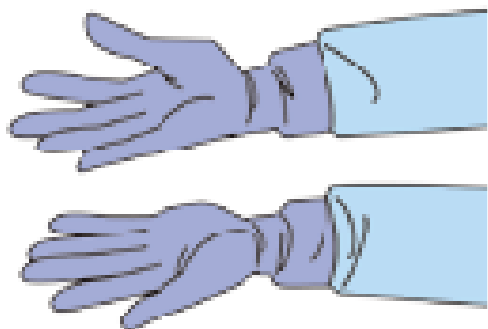
着け方

ポイント

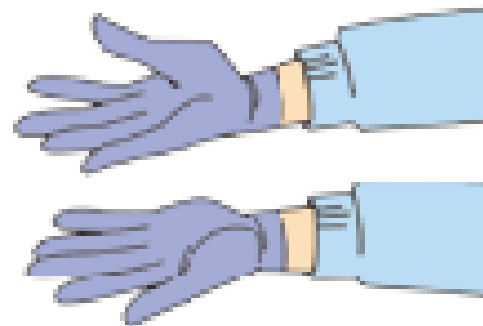
入室前に着用すること。

3 手袋

手袋



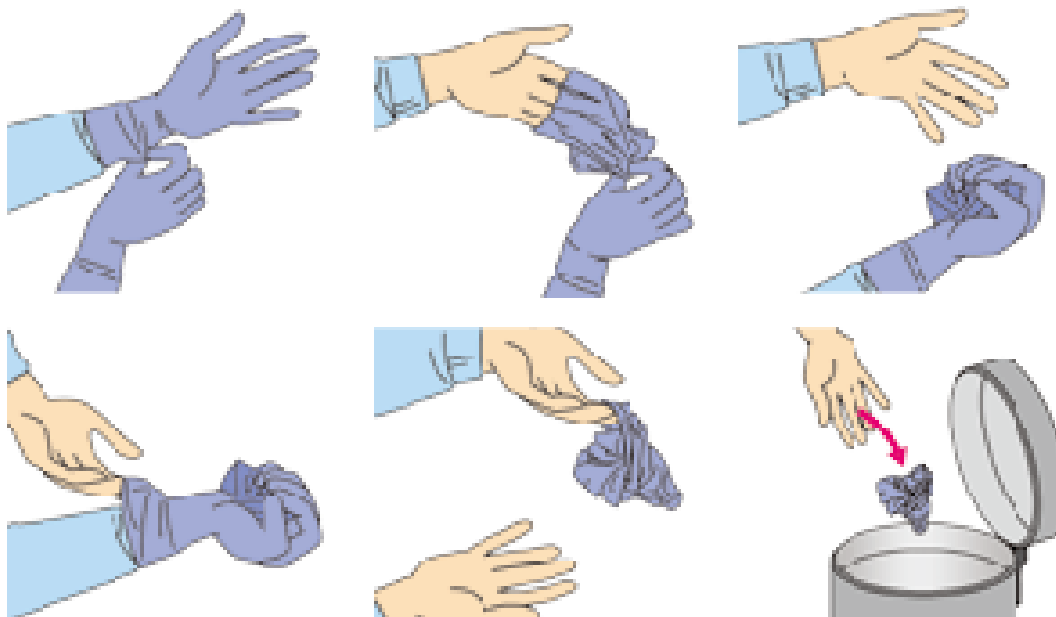
手首が露出しないようにガウンの袖口まで覆う。



手首が露出している

予防具（手袋）を脱ぐ時の手順

1 手袋



手袋

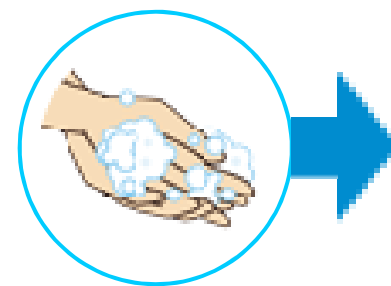
外側をつまんで片側の手袋を中表にして外し、まだ手袋を着用している手で外した手袋を持っておく。

手袋を脱いだ手の指先を、もう一方の手首と手袋の間に滑り込ませ、そのまま引き上げるようにして脱ぐ。

2枚の手袋をひとかたまりとなった状態でそのまま廃棄する。

職業感染制御研究会（JRGOICP）

ここで手指衛生。

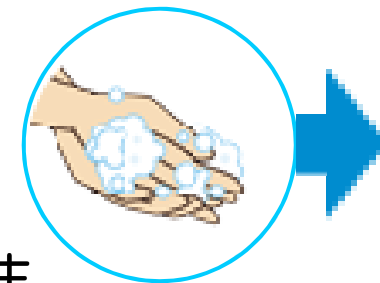
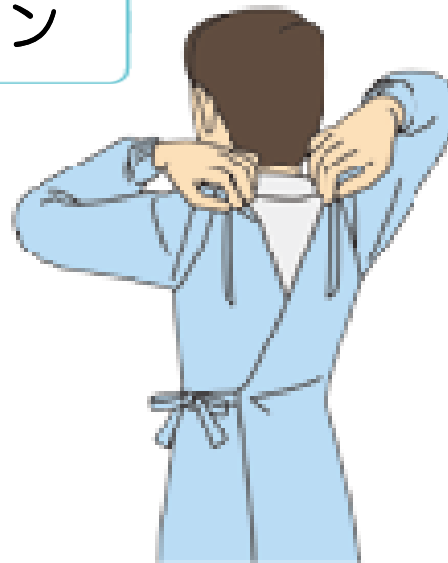


予防具（ガウンの場合）を脱ぐ時の手順

2 ガウン・エプロン

ガウン

ひもを外し、ガウンの外側には触れないようにして首や肩の内側から手を入れ、中表にして脱ぐ。小さく丸めて廃棄する。



ここで手指衛生。

職業感染制御研究会（JRGOICP）

予防着（エプロンの場合）を脱ぐ時の手順

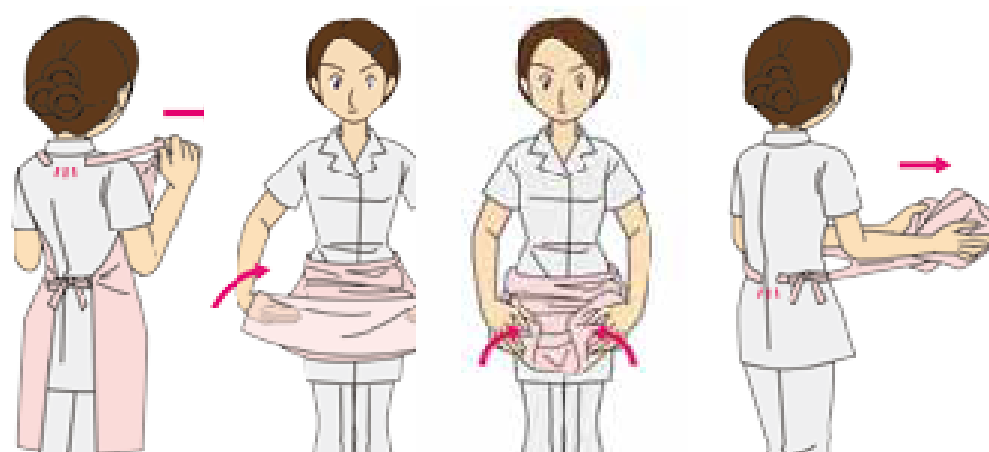
2 ガウン・エプロン

エプロン

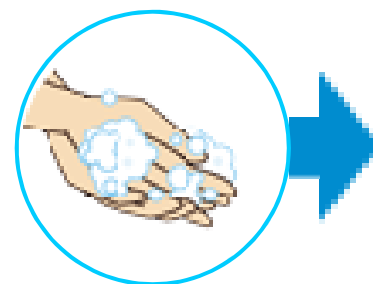
首の後ろにあるミシン目を引き、腰ひもの高さまで外側を中にして折り込む。

左右の裾を腰ひもの高さまで持ち上げ、外側を中にして折り込む。

後ろの腰ひもを切り、小さくまとめて廃棄する。



ここで手指衛生。



予防着（マスク）を脱ぐ時の手順

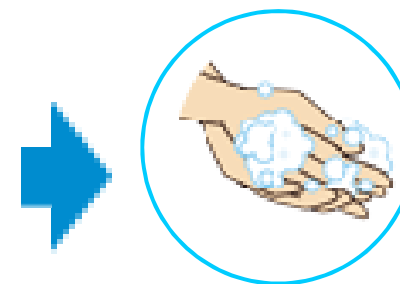
3 サージカルマスク

サージカルマスク

ゴムやひもをつまんで外し、マスクの表面には触れずに廃棄する。



最後にもう一度手指衛生を行います。



徹底しよう！

スタンダードプリコーションは、**たった1人が適切に行わないだけで、それ以外の人の努力が無意味となる可能性がある**

施設の全職員が確実に行うこと！

確認してみよう！

施設の感染予防マニュアルでは、予防具の使用についてどのように定められているでしょうか？確認してみましよう。

<手 袋> _____

<マスク> _____

<ガウン> _____

3. 宿主（人間）の抵抗力の向上

- 感染症の発症は、宿主（人間）の抵抗力に影響される
- 抵抗力や免疫力が弱っていれば、感染症にかかりやすい

⇒ 入居者の状態観察・把握が必要

（私たち介護職も）感染症にかからないように、健康管理、身体の抵抗力を強化する取り組みが求められる

あなたの健康管理は大丈夫？

次の3点について普段の生活を振り返り、健康管理に向けて改善したい点があれば書き出してみましよう！

<食 事> _____

<睡 眠> _____

<運 動> _____

お疲れ様でした。

引用・参考文献

①職業感染制御研究会(JRGOICP) <http://jrgoicp.umin.ac.jp/>

「スタンダードプリコーション②予防具の使用」

②厚生労働省ホームページ

「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」

<https://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/tp0628-1/>

(2018年6月閲覧)

【教材作成】

社会福祉法人創誠会

特別養護老人ホーム あかり

施設長 渡邊尚太